

自己点検・自己評価報告書(令和2年度)

学校法人瓶井学園 日本メディカル福祉専門学校
こども福祉学科(通学2年課程)・保育士科(通信3年課程)

令和3年4月1日作成

1 学校の教育目標

こどもにとって重要な乳幼児期に関わる専門職として、保育の現場で必要となる専門知識・技術を持ち、こどもの気持ちに寄り添いながら、こどもを取り巻く種々の環境を調整するための確かな判断と対応ができる優れた保育士を育成する。

また、少子化が進み、家庭や地域での子育て力の低下が指摘され、こどもだけでなく保護者に対しても個々の状況に応じた支援が求められているなか、社会福祉士国家資格や幼稚園教諭1種免許状を併せて取得し、ソーシャルワークのスキルを持った保育士として専門的かつ実践的に対象者に関わっていくことのできる人材を育成する。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 保育に携わるものとして求められる公共心、コミュニケーション能力の向上を図る。
- (2) 有識者や保育現場等の関係者からの意見を取り入れ、より実践的な知識・技術修得を目指し、保育士(専門職)としての価値観を身に付ける為、授業内容を充実させる。
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、授業形態の工夫や授業内容の変更を行う。
- (4) 在校生、卒業生、保護者だけでなく広く実習先や関係機関等地域社会に対し、本校の教育に対する理解を深めていただけるよう情報を発信する。
- (5) ホームページの充実を図る等して、本学科の認知度の向上に取り組む。
- (6) 教員の資質・指導力を向上させるため、積極的に部外などの研修に参加する。
- (7) 就職支援の充実を図り、学生の希望が実現できるように情報収集と個別指導を徹底する。
希望する学生には、早期より就職支援を受ける機会を提供する。
- (8) 学生数が減少し、集団教育の成果が得られにくい場面も散見される。全職員が一人でも多くの入学生を確保するための広報活動に積極的に取り組む。又、オンライン説明会の需要が増えてきている為、即時的かつ個別で相談が出来る体制づくりを整備する。

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確認
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1	
学校における職業教育の特色は明確か	④ 3 2 1	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1	
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2 科共通)

- ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などについて、教職員が熟知し、折に触れ学生に伝えている。対外的にはホームページ、学校案内などに本校の教育方針と特色(アドミッション・ポリシーなど)を記載しており、概ね周知されている。

(こども福祉学科)

- ・入学式終了後に保護者説明会を実施することにより、学生の教育理念に関して保護者に理解を深めて頂くことが出来ている。については、継続的に説明会や懇談会の実施に向けての取組が必要である。なお、新型コロナウイルス感染症に関する保護者への説明が今後の課題である。
- ・社会福祉士の受験資格取得を希望する者には、本校の社会福祉士科通信課程に在籍の上、国家試験合格に向けた授業展開(学校独自科目)を行っている。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確認
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1	
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1	
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1	
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1	

【総括・特記事項】

(2 科共通)

- ・定められた運営方針は、管理者会議、学科会議等を通じて教職員に伝達されている。
- ・学校の目的、目標の達成や社会のニーズへの対応のため、各委員会・研修会を開催し、学校運営を行っている。
- ・教育活動等に関する情報公開は、ホームページや学校案内、学生募集要項等で行っているが、学生の学内の様子なども取り入れながら、入学希望者、在校生、保護者などにとってわかりやすい内容とするため見直しを行っている。又、SNSを活用し、情報発信を行うことが引き続き必要である。
- ・業務効率化を図る情報システム化については一応整備されているが、引き続き改善の見直しが必要である。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確認
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1	
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1	
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1	
授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはできているか	④ 3 2 1	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1	
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1	
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力・育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1	
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2 科共通)

- ・厚生労働省が指定する保育士養成施設として、令和元年度入学生から新カリキュラムに則った教育を実施している。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言時にはオンライン授業を導入した。又、情勢に合わせ、三密対策をとった上で、学科運営（登校日の設定や対面授業の実施など）を行った。
- ・保育士資格は卒業と同時に取得できる資格であり、国家資格取得がカリキュラム上で明確に目標として定められている。
- ・各科目の指導内容・方法等は、所定のシラバスを作成し講義概要として学生に配付している。各科目のシラバスでは、主に授業目標、授業内容及び担当教員名、成績評価基準などを明記している。
- ・「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準」により教員資格要件が設定されているため、専門分野の知識・技能レベルが充足した教職員を確保できているが、スキルアップを目指し教職員の外部研修の受講や国家資格取得を奨励している。
- ・講師要件を備えた教員が学生の特性に配慮した授業を展開できるようにしている。特に実践力のある保育士養成を目指し演習科目については、複数名の教員を確保している。
- ・単位認定や卒業要件を明示するとともに、各担当教員は厳密に成績評価を行い、判定会議を経て単位認定を行っている。

(こども福祉学科)

- ・大学卒以上の入学者には、社会福祉士国家資格（受験資格）、幼稚園教諭 1 種免許状も併せて取得できるコースを設定し、卒業後の活躍の場を広げている。
- ・総合評価点の算出において、授業への意欲度（出席点）の算出を教務課で一定割合とした。

(保育士科)

- ・令和 2 年度 4 月から継続履修は履修年の翌年度に限り、履修可能とする進級規定を運用している。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1	
資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1	
退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1	

【総括・特記事項】

(こども福祉学科)

- ・ 求人情報収集と共に面接指導等、就職に向けての個別指導を十分に行っている。
- ・ 例年、本校で取得できる免許や資格を活用して就職率 100%を目指している。令和 2 年度は就職希望者全員が就職することが出来た。なお、アフターケアや就職定着支援については今後の課題である。
- ・ 社会福祉士資格取得率については国家試験の合格率やトリプル資格取得者に対する個別支援が課題である。学校独自の科目（時間数）を変更したこととの因果関係を一定期間経過後、検証し、今後の取り組みに活かしていく。
- ・ 令和 2 年度はこども福祉学科 1 名の退学があった。
- ・ 同窓会委員会を設立する事を目標におき卒業生と連絡をとることを進めているが、卒業年によっては連絡網が不完全な状況である。については、引き続き卒業生の情報発信ネットワーク構築に努力する。

(保育士科)

- ・ 令和 2 年度は中途退校者・退学者・休学者・除籍者が多数であった。
理由の 1 つとして、継続履修(進級規定)が履修年の翌年度に限り、履修可能とする規定を運用している為、休学者が増加したと考えられる。なお、学校生活不適應、経済的理由、家庭の事情などが退学理由となっている。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
学生への生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1	
保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1	
卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1	
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4 ③ 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- ・雇用保険加入歴のある学生には「専門実践教育訓練費および教育訓練支援給付金」の利用を勧めている。
- ・平成28年度に創設され各都道府県社会福祉協議会が担当する「保育士修学資金」の利用を勧め経済的に安定した学生生活を送れるように支援している。
- ・高等教育の修学支援制度の対象学科として、経済的な支援（学費サポート）制度を案内し、利用を進めている。
- ・特に未成年者の生活環境や学習状況、成績などで気になる点がある場合は、保護者に連絡をとり、連携をとっている。
- ・卒業生からの転職、キャリアアップ等の相談には随時対応している。

(こども福祉学科)

- ・令和2年度の就職希望者の就職率は100%(正職員)であった。
- ・学生の個別相談に応じ、学生自身が就職活動を積極的に行うことが出来るようにするため、各学生の自己決定の過程を支援する体制が作れている。
- ・就職に関しては、担任を含むチーム学校としての支援体制を構築し、希望職種・希望施設への就職が実現できるように関わっていく。
- ・学園独自の奨学金(入学金全額免除・授業料一部減額)は、該当者全員が利用している。
- ・学生が心身ともに健全な学生生活を送る為に、担任等が定期的に個人面談を行い対人関係、学業などの悩みがある場合は積極的に対応できる体制を整えている。又、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う対応の為、担当者による校舎入室時の体温や体調管理の確認を徹底している。
- ・ボランティア活動に備え、ボランティア保険に加入(1年生)していた。次年度からは保険会社が変わる為、ボランティア保険への別途加入は行わないこととする。
- ・学園の学生寮に入居している学生については生活環境の把握ができています。又、親元等から離れ、一人暮らしをしている学生についても生活環境を把握するように継続的に努めている。

- ・平成28年度より前期、後期の成績が確定後、保護者に理解と納得が得られるようにし、保護者による学生指導などの協力を得るように取り組んでいるが、保護者会の開催は出来ていない。但し、社会人経験のある学生については保護者の招致を控えている。
- ・社会人経験のある入学者は目的意識の高い者が多く、大卒以上の者限定ではあるが、社会福祉士国家資格、幼稚園教諭1種免許状を併せて取得できるコースを設定している。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
施設及び教育設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1	
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1	
防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- ・厚生労働省指定カリキュラムに沿った施設・設備を整備している。
- ・海外研修については、民間企業の研修ツアー等を紹介するにとどまっている。
- ・防災については、消防署による定期的な検査・点検を受け法令に基づいた体制整備や自己点検を行っている。

(こども福祉学科)

- ・学習については、1年次10月に保育所実習を、12月に施設実習を実施し、2年次7月に保育所実習又は施設実習のどちらかを学生が選択の上、実施している。その際、実習先の協力を得て効果的な実習が行えるように実効性のある事前指導・巡回指導・事後指導に取り組んでいる。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1	
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1	
学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- ・入学事務局、広報担当、広報委員を中心に、全職員が適正な学生募集活動を行っている。
- ・学校案内においては、授業内容、資格の内容等を示しており、毎年適宜見直し・改良している。ホームページについては除々に内容が充実してきているが、さらに興味を引くような内容に適宜改良を進めている。特に、より正確かつタイムリーに志願者・保護者等に伝わるものとなるよう努める余地がある。新ホームページへの移行やSNS広報の充実が今後の課題である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン説明会の希望ならびに入学への需要が増え、希望に応じ即時的に個別で相談に応じた。
- ・入学選考方法は学生募集要項に明記しており、適切かつ公平な基準に基づき行われている。
- ・学納金は、教育内容、社会状況、学生及び保護者の負担感等を考慮して設定されている。

(こども福祉学科)

- ・入学選考面接は、複数担当者にて実施している。
- ・本校独自の奨学金制度も利用できるようになっている。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	
財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1	
財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえる。
- ・学校会計基準により財務諸表が作成され、予算と収支管理が行われている。
- ・財務について、会計監査が適正に行われている。
- ・学園ホームページにて、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表を公表している。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1	
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1	
自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- ・法令や設置基準等が遵守され、適正な運営を行っている。また各部門において、会議等を行い設置基準等の正しい理解に努め、運営を行っている。
- ・個人情報保護委員会を設置し、職員教育を徹底している。
- ・自己点検・自己評価を実施し、昨年度の問題点の改善に取り組み、一定の成果を上げている。
- ・ホームページにて「自己点検・自己評価報告書」ならびに「学校関係者評価委員会報告書」の情報公開を行なった。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1	
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1	
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- 平成28年度から、日本メディカル福祉専門学校として、医療法人が主催する地域住民への医学公開講座に、教室を無料提供している。

(こども福祉学科)

- ハロウィンの時期、近隣の企業型保育所の子ども達が地域内を周り、イベントが行われた。当校も当イベントに参加し、三密に留意しながら、子どもたちと短時間の交流を行った。
- 社会福祉士科と連携し、地域の子どもたちを対象とした「のびのび学習室」でのボランティアについて情報提供を行なうなど、活動を奨励している。
- 近隣中学校における出張授業などは令和2年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(11) 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切3、 やや不適切…2、不適切1	評価委員 確 認
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④ 3 2 1	
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④ 3 2 1	
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1	
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 ③ 2 1	

【総括・特記事項】

(こども福祉学科)

- 令和2年度、コロンビアから国費留学生が入学し、勉学に励んでいる。学校側の支援と本人の努力により、学習成果があがっている。
- 令和3年度 入学者獲得に向け、日本語学校との面談や連絡を行った。結果、カンボジアからの私費留学生(3名)の入学に繋がった。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果(今年度の方向性)

1. 昨年の学校関係者評価委員会の委員の方のご意見について教務運営への反映

教務運営に活かしたこと

- (1) 令和3年度の学校関係者評価委員会に向けて、3科合同の打ち合わせを2回実施の上、約1週間前に委員へ配布資料の事前送付を行い、委員にあらかじめ目を通して頂くこととした。
- (2) 緊急事態宣言ならびに、新型コロナウイルス感染症拡大防止期間において、オンライン授業を展開した。全員がオンラインを受講する期間では講義科目を展開し、実技科目(音楽・体育)は授業日程の振替を行った。又、ハイブリット方式で展開した期間では音楽についてもオンライン授業を展開、授業内容(シラバス)の入替(変更)や教員の教室移動などで対応した。
- (3) 保育現場での感染予防を含め、新型コロナウイルス感染症について、子どもの保健、子どもの健康と安全、体育(保健体育)などで教授を展開した。又、教務課からの案内や情報提供を行い、新型コロナウイルス感染症対策について、理解を促すようにした。
- (4) 学生が話したいと思った時に、クラス担任を始め、話しやすい教員のもとへ相談に行くことが出来る体制を整備した。については、人間関係の構築や精神的な力をつけていく支援を行うことが出来ている。
- (5) 広報についてはホームページ(新ページ)への移行を含め、ホームページ委員を中心に準備を進めており、現ホームページにおいてもアクセス数などの分析(アナリティクスなど)を行っている。

教務運営として実施できなかったこと

- (1) トリプル資格取得者に対して、こどもの領域と福祉の領域について繋げるカリキュラムについて現時点では立案や導入は行えていない。については、今後の課題(学校独自の科目)として引き続き検討を行なう。
- (2) 保育士等キャリアアップ研修は新型コロナウイルス感染症拡大ならびに、講師変更手続きの理由により令和2年度研修を実施しなかった。令和3年度についても現在、開講が確定出来ていない。

2. 昨年度からの評価に関する変更点、ならびに今年度(令和3年度)の目標や計画

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大に関する影響

- ・職員による日々の校舎入室時体温や体調管理の確認が徹底出来ている。
- ・授業形態の工夫や授業内容の変更を行い、実施出来た。については、保育士養成施設の指定及び運営基準に準拠した授業内容とした上で、方法やシラバスの変更を行った。
- ・オンライン説明会や出願の需要が増え、希望に応じ即時的に個別で相談に応じることが出来た。
- ・見学実習(豊新かめっこ保育園・こどものくになど)を見合わせた。
- ・学校運営に関する保護者への説明が不十分であった。(保護者懇談会の未開催)

見学実習や保護者会の開催については状況を見ながら、実施をしていく。又、対面にこだわらず実施方法を変更し、実施できるようにすることが課題である。

(2) 学生の受け入れ募集(国際交流を含む)

- ・令和3年度 入学者獲得に向け、日本語学校との面談や連絡を行った。結果、カンボジアからの留学生(3名)の入学に繋がった。
- ・新ホームページへの移行やSNS広報の充実、オープンキャンパスにおいて音楽や創作活動等の実践的な科目の一部を体験してもらい、保育士としての適職性について自信を持ってもらえるように働きかけることが引き続きの課題である。

(3) 学修成果・学生支援

- ・学習支援が必要な学生（学力低調者、社会的養護が必要な学生、発達障害のある学生など）の個別相談に応じてきた。又、学生自身が就職活動を積極的に行うことが出来るようにするため、各学生の自己決定の過程を支援する体制が作れていた。結果本科生において、就職率100%（正職員）が達成できた。しかし、公務員としての就職は皆無であった。ついでに、令和2年度には実施しなかった大阪府福祉部採用担当者を当校に招き「福祉職の仕事内容や採用試験の実際」について具体的な説明を頂くことから公務員試験にたいするモチベーションを上げることが今後の課題である。
- ・退学者や休学者が多数出たほか、音信不通などの学生対応について難しさを実感している。ついでに、入学時に学費納入計画を立案することの説明や個別相談による人間関係の構築や精神的な力をつけていく支援を保育士科(通信)を含め、継続していくことが課題である。

(4) 社会貢献・地域貢献

- ・ハロウィンの時期、近隣の企業型保育所の子ども達が地域内を周り、イベントが行われた。当校も当イベントに参加し、三密に留意しながら、子どもたちと短時間の交流を行った。継続的に地域との交流行事などを展開していくことが課題である。

(参考) 令和3年度は大阪府の待機児童解消施策として行われている職業訓練「長期高度人材育成コース(保育士養成コース)」の訓練生9名を受け入れている。本科生と共に、学びの相乗効果が得られるようにクラス運営を実施する。